

意見招請からの変更点

※インデントや書式の修正は未記載

項番	ページ	章番号	修正前	修正後	修正理由
1	仕様書	2 調達案件 (1) 調達範囲	右文章を追加記載	但し、要件定義書に記載の要件充足度や設計を進めていく中で出てきた新たな要件等について、既存要件の実装の可否や優先度については相談のうえ決めていくものとする。	アジャイルで設計・開発を進めていく中で、要件定義書に記載のものより優先度の高い機能がでてくる可能性を配慮した。
2	仕様書	4 作業の実施内容 (12) 成果物	・テスト仕様書 (R6年度納品)	・テスト仕様書 (R7年度納品)	スケジュールの観点より、R7納品が良いと判断。
3	仕様書	4 作業の実施内容 (12) 成果物	[初期運用・保守に係る成果物] 運用計画、保守作業計画	[初期運用・保守に係る成果物] R7年度運用計画、R7年度保守作業計画	対象の年次を明確にした。
4	仕様書	8 入札参加資格に関する事項 (2) 公的な資格や認証等の取得	右文章を追加記載	ウ応募者は、ガバメントクラウド上へのシステム設計・構築にあたり、高度な専門性を有するプロジェクト要員を体制に参加させること (7)CSP (クラウド サービス プロバイダ) の上級資格を有していること。本事業ではAWS基盤を利用するため「Solution Architect Professional」等が相当する。	ガバメントクラウド概要解説の調達項目（事業者に求める実績、スキル、役務等）を参考に修正。 https://guide.gcas.cloud.go.jp/general/overview-explanation-chapter-07/#713-%E4%BA%8B%E6%A5%AD%E8%80%85%E3%81%AB%E6%B1%82%E3%82%81%E3%82%8B%E5%AE%9F%E7%B8%BE%E3%82%B9%E3%82%AD%E3%83%AB%E5%BD%B9%E5%8B%99%E7%AD%89
5	仕様書	9 不開示情報の取扱いについて (1) 情報管理体制	は発注者に対し	発注者に対し	誤字を修正した。
6	要件定義書	第2章 7. 管理すべき指標 (1) 管理すべき指標 表2-1.2	稼働率：99.9%	稼働率：99.0%～99.9%	システム設計前の目標稼働率（理論値）にバッファを持たすことによって、システム設計時に最適化を検討しやすくなるため。
7	要件定義書	第4章 2. システム方式に関する事項 (1) 情報システムの構成に関する全体の方針 ウ 文字コード及び文字の符号化形式の方針	：代替文字は、国税庁の法人番号サイトで提供する文字とし、JIS X 0213の範囲内であるが、代替文字のない法人名については、当該部分をカタカナで記載すること。	左記の文を削除	JIS X 0213範囲外の代替文字をカタカナとする仕様は、困難と判断したため。
8	要件定義書	第4章 5. 信頼性に関する事項 (1) 可用性要件 表4-4	稼働率：99.9%	稼働率：99.0%～99.9%	システム設計前の目標稼働率（理論値）にバッファを持たすことによって、システム設計時に最適化を検討しやすくなるため。
9	要件定義書	第4章 5. 信頼性に関する事項 (1) 可用性要件 表4-4	ディザスタリカバリ ウォームスタンバイによる停止無しの復帰	ディザスタリカバリ パイロットライトによる復帰	システム特性に合わせたDR対策とした。
10	要件定義書	第4章 9. 継続性に関する事項 (2) 継続性に係る目標値	目標復旧時間：数分以内 目標復旧時点：数秒以内 DR対策として災対リージョンでは縮小構成を保持しておき広域被災時には災対リージョンで稼働を続けるウォームスタンバイ（ガバメントクラウドLevel2）の構成を目指す。（GCAS ガバメントクラウド AWS 利用ガイド Replatformシステム移行ノウハウに適合したディザスタリカバリ環境 参照）	目標復旧時間：数時間以内 目標復旧時点：数分以内 DR対策として災対リージョンでは縮小構成を保持しておき広域被災時には災対リージョンで稼働を続けるパイロットライト（ガバメントクラウドLevel2）の構成を目指す。（GCAS ガバメントクラウド AWS 利用ガイド Replatformシステム移行ノウハウ（RDBのマネージドサービス化）可用性→複数リージョンの可用性→災害対策 参照）	同上
11	要件定義書	第4章 13. 移行に関する事項 (1) 移行に係る作業区分 表4-8	作業概要 現行Gビジネスフォは、次期Gビジネスフォの安定稼働までウォームスタンバイ等の形を取る方針だが、詳細については移行計画書をベースに当室の方針を決める。	作業概要 現行Gビジネスフォは、次期Gビジネスフォの安定稼働までパイロットライト等の形を取る方針だが、詳細については移行計画書をベースに当室の方針を決める。	同上